

議会だより おかがき

No.116 3月定例会 平成30年4月25日発行

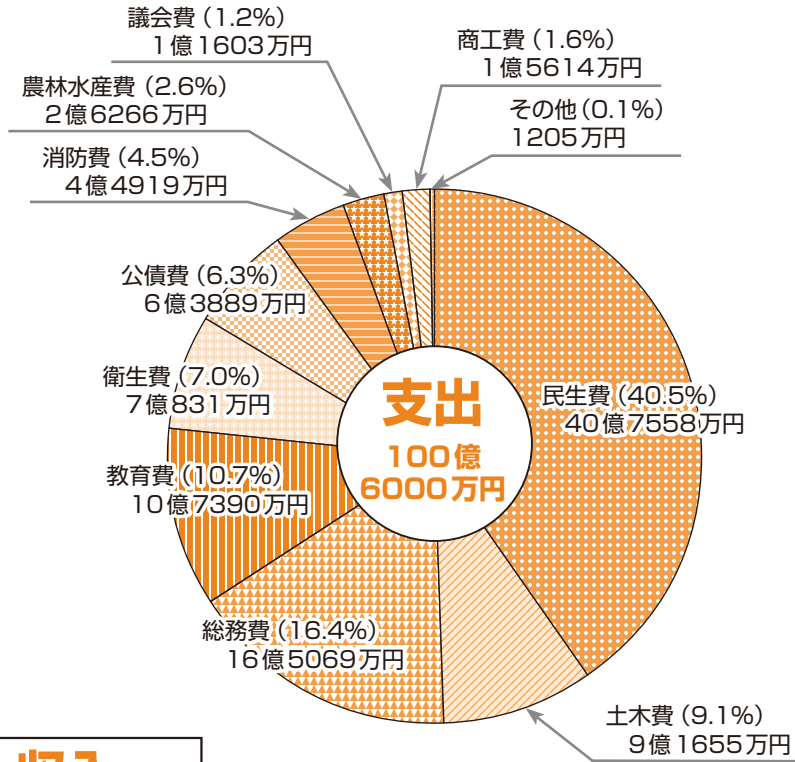
- 2～4 ● 小・中学校の教育環境充実へ
- 8～11 ● 町政を問う



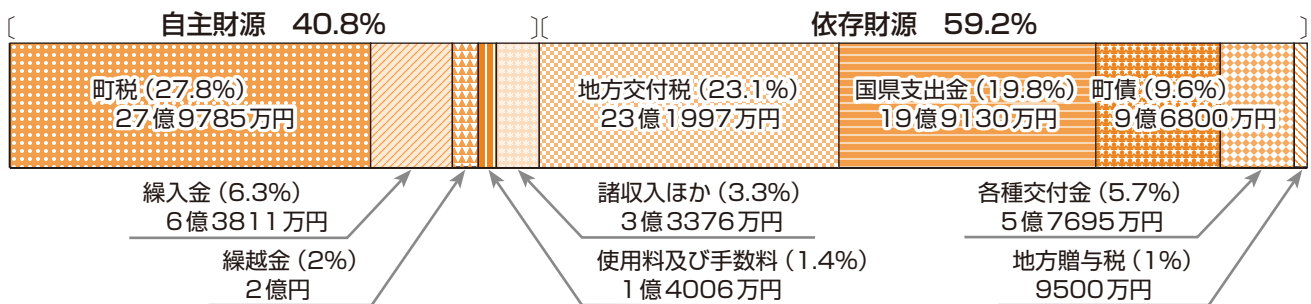
60000万円

平成30年度一般会計予算可決
前年比2億1000万円(2.1%)増

小・中学校の教育環境充実へ



収入 100億6000万円



【会計別予算額】

	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	前年比	
一 般 会 計	100億6000万円	98億5000万円	102.1%	
特別会計	国民健康保険	35億1671万円	44億6968万円	78.7%
	後期高齢者医療	5億7805万円	5億9369万円	97.4%
	住宅新築資金	79万円	79万円	100.0%
公 営	水道事業	4億9575万円	5億226万円	98.7%
	下水道事業	9億331万円	9億3681万円	96.4%

※公営企業会計は収益的支出の額

町のお金は
こう使います

100億

特色ある取り組み



就農支援事業 1088万円

岡垣町で新たに農業をされる方を応援する費用です。



地域情報伝達システム事業 1億808万円

でんたつくん設置工事、有線放送撤去工事等を行うための費用です。



町営住宅建設事業 3754万円

来年度、三吉団地に4階建て24戸の町営住宅を建て替えます。そのための設計等の費用です。



今年度からえびつ幼稚園が認定こども園となりました

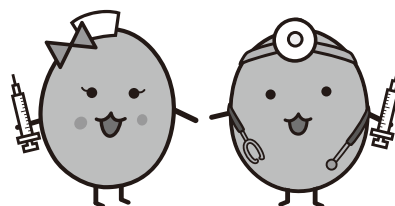
児童福祉施設運営事業 5億4920万円

中部・私立保育所、認定こども園等の運営費用を岡垣町が一部補助しています。



小中学校施設整備事業 3億1034万円

両中学校にエアコンを設置する費用です。
小学校のトイレ（海老津・吉木）を洋式化する費用です。



乳幼児等感染症予防事業 5945万円

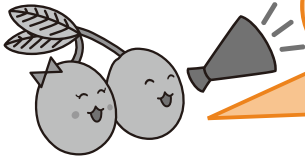
子どもがインフルエンザ予防接種を行う場合、町が2000円補助する費用等です。（中学生まで）

予算 審議

30年度予算の聞きたいところ

当初予算は、総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会の2つの委員会（議員全員）の連合審査会で集中審議しています。

議員からの質問と、町長・教育長からの答弁を紹介します。



商工費

- Q** プレミアム付商品券への補助は30年度もありませんか。また、期限までに使い切れなかった時の救済措置はありますか。
- A** 岡垣町商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業については、30年度も補助金を交付します。なお、期限内に使い切れなかった商品券については、商工会が対応することとなります。

民生費

- Q** 昨年度から認知症カフェ事業が開始され、現在の7つの事業所が町から補助を受け、取り組まれています。30年度の見込みは。
- A** 9カ所分の予算を計上しています。
- Q** こども未来館はどのような改修工事をするのですか。また、工事期間中は使用できますか。
- A** 窓枠修理や照明のLED化などの工事です。工事期間中も使用できます。

総務費

- Q** 3月からコンビニで証明書の交付ができるようになりました。岡垣町のマイナンバーカード普及はどうなっていますか。
- A** 4607件で県内トップの普及率です。また、現在の自動交付機は6月から使用できなくなりまので、今後もマイナンバーカードの普及に努めていきます。

教育費

- Q** 町民武道館はどのような工事をするのですか。また、工事期間中は使用できますか。
- A** 平成30年12月から平成31年3月まで天井の改修と照明のLED化工事を行います。その期間は使用できません。
- Q** 小学校の就学援助費が増額されていますが、入学準備金の入学前支給の予算ですか。また、支給月はいつですか。
- A** 平成30年度から、中学校に入学する児童が対象で、入学準備金を入学前の3月に支給します。

※所得要件があります。

土木費

- Q** 西鉄バス海老津―波津線は廃止されるのですか。存続しますが、2台から1台に減便することにも、赤字補填を求められています。減便される場合は、町のコミュニティバスにより、できるだけ補完したいと考えています。
- A** ※会議後に実施調査予算として3億5000万円計上されました。
- Q** 国道3号岡垣バイパス4車線化はどのような状況ですか。
- A** 国の予算に計上されるように、引き続き陳情を行っていきます。

農林水産費

- Q** 波津漁港の維持工事の内容は何ですか。堤防の潮通しの閉塞工事を行う予定です。
- A** 排水機場の管理は管理組合にお願いしていますが、管理者の高齢化が進んでいます。今後の管理方法についてどう考えていますか。
- Q** 引き続き管理組合にお願いしたいと考えています。

平成30年度 岡垣町一般会計予算

反対

平山 正法 議員

昨年、介護保険制度が改正された。これにより、利用料3割負担が導入され、8月に実施される。また、国民健康保険税と後期高齢者医療保険料も値上げとなるため、介護保険料の値上げは住民の暮らしに一層追い打ちをかけるものとなる。

行政改革により、平成30年度は敬老祝金の削減が行われる。今後は、公共施設の利用料金の改定や公共施設の統廃合など計画されているが、これらは住民の利益に反するものである。将来の公共施設の統廃合など、住民の要求抜きで検討することは許されない。住民の福祉の増進を図ることを求めて反対する。

賛成

広渡 輝男 議員

岡垣町の主要な財源である固定資産税や住民税などは過去10年間の動向はほぼ横ばいである。こうした中で、激増する福祉・民生費の確保、農業や水産業の振興策の取り組み、西鉄バスの後退に対するコミュニティバスの再編、中学校の空調施設等の教育環境の充実等の予算確保については評価する。しかし、不足する財源確保のため、地方債の発行や貯金である基金の取り崩しには限界がある。昨年、策定された行政改革推進計画の経常経費の削減も一定の限界がある。一昨年に完成した海老津白谷線道路等を活用したJR海老津駅南側の開発の促進など、さらなる財政基盤の確立を強く求めて賛成する。

森山 浩二 議員

岡垣町の歴史の中、初めて100億円を突破した当初予算は、民生費が40億円を超え、全体の40%をしめている。国の政策で扶助費が大幅に増す一方、地方交付税等は大きく増えておらず、厳しい財政状況を感じ取ることができ

厳しい中、町長は施政方針で「子育て支援や安全安心に関する施策を中心に取り組み、住みよさを高めていくことが重要」と述べている。幸せな将来のための厳しい改革を進めていく予算と受け止め、岡垣町の明るい未来を期待し、また、ふるさと納税や定住促進、不動産売却収入など、歳入増の取り組みに大いに期待し、賛成する。



住み続けたいまち



コミュニティバス

賛成

西 美千代 議員

人口減少への具体的な取組みとして、私立幼稚園の認定こども園化、改修された「ほしのほいくえん」の定員拡大により、保育所の待機児童も昨年比べかなり減少していることは評価でき、定住促進につながるよう期待する。また、今年度は県からの派遣事業であるスクールソーシャルワーカーを継続して町の単費で予算化されたことは評価したい。さらにスクールカウンセラーの配置時間の増加を要望する。健康づくりの推進については、各種がん検診や特定健診の受診率向上に加え、健康寿命を延ばすための取組みを各団体と協力して実施して欲しい。

神崎 宣昭 議員

町の重要課題である人口減少対策、安全安心に関する施策、環境保全対策、農・漁・商業、観光の振興と人材育成事業、教育・福祉の充実など、住み良さを高める施策を、多岐にわたり幅広く積極的に取り組んでいる。

これらの事業を公平公正かつ的確に予算配分していることを高く評価する。現在の厳しい財政状況と今後の財政的な課題に対応して「行政改革推進計画」を継続的に実行し、更に一歩踏み込んだ行政改革にすみやかに取り組んで、実行力のある岡垣町行政と言われることを期待して、賛成する。

横山 貴子 議員

岡垣町の財政運営は引き続き厳しい状況である。税収の減少と財源不足が拡大する財政状況の中で編成された平成30年度一般会計予算は、「行政改革推進計画」を着手できるところから実行に移しているが大変厳しいものとなっている。

岡垣町の未来を切り開く効率的で効果的な事業が多く盛り込まれた予算編成になっていると評価する。今後も国の動向に注視し行政運営に努めていただくことを要望すると共に、「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち 岡垣」の基本理念のもと着実に事業が執行されることを期待し賛成する。

小野 元次 議員

一般会計予算は「第5次総合計画後期基本計画」に基づき、「子育て・安全安心・自然・健康・産業」を基本とする予算組みである。

厳しい財政課題に対応する「行政改革推進計画」を実行しながら、「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち 岡垣」への政策を継続して行うことを評価する。本年3月策定の4つの計画「地域福祉計画」、「障害のある人のための基本計画」、「第8期高齢者福祉計画」、「空き家等対策計画」が実現すれば、「これからの老後を考えると、岡垣に住んでみたい」と思える居住地として選択肢が広がる事を期待して賛成する。



改修後の岡垣中学校トイレ



岡垣ほしのほいくえん

曾宮

農林水産業振興を問う

町長

継続的な支援を行う



曾宮 良壽 議員

曾宮 農林水産業の振興策として、生産についても加工・販売についても直接町が行うものでないと思いますが、消費は町も一つの団体として行っています。

例えば町長が旗振りをして、地産地消を進め、もっと作る人を支援していくこともできます。

町（行政）として、施策の中で何ができるのか基本的な考え方と広域的な取り組みについてお答えいただきたい。

町長 一部農事組合法人では、6次産業化の取り組みが進められています。農業等経営者の多くは加工分野への事業化については敬遠する実

態が見られ、生産者からも積極的な意見が多数聞かれます。

加工分野については、意欲ある経営者には、必要な情報提供、国・県・関係機関への橋渡し、調整を図るなどの支援を行っています。

販売については、現在多様な販売形態が形成され、経営者は自らの判断で販売先を選択し、所得の向上に努めています。

そのような中、町では生産



びわの栽培

者のニーズを踏まえ、公共施設を活用した地域農産物の販売についてもイベントを通して実施しています。

消費については、地産地消

森山

積極的な基金運用を

町長

債券運用拡大を検討



森山 浩二 議員

な状況下の中、町の基金をどのように運用しているのかお尋ねします。

町長 我が国の経済情勢については、ご存知のとおり、日銀の金融緩和により金融機関への預け入れ利率は下がってきていますので、預金の利子収入も低くなっています。

このことは、全国の自治体はどこも同じ影響下にあります。当町の基金は、ほとんどを定期預金で運用しており、貸付基金など普通預金にせざるを得ない基金を除き一部を債券で運用しています。

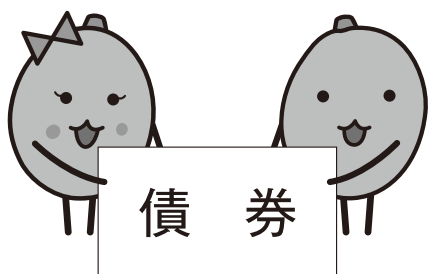
森山 市場低金利の状況下中、今後の基金運用は、取り

の取り組みをすすめるため今後も引き続きインショップへの継続的な支援や、各団体等が行う事業に対する支援を行っています。

崩し時期が決まっていない基金や定期預金の分散により、短期債券等運用を積極的に行うなど、より計画的な基金運用が必要だと考えますが、町長のお考えをお尋ねします。

町長 今年度策定した行政改革推進計画の中で、基金の運用については、債券での運用割合を拡大することなども含めて財源確保の取り組みを進めることとしていますので、今後の資金需要と経済状況などを十分考慮し、効率的な基金の運用を研究し、実行していきたいと考えています。

（その他の質問）
*公営企業の経営改善について



横山

要介護者が在宅生活を続けるには

町長 在宅医療・介護の連携推進と介護にあたる家族への支援が必要



横山 貴子 議員

心して暮らせる町の実現を目指してまいります。

横山 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みのなか、現状と課題について、また岡垣町高齢者福祉計画・第8期の中での位置づけはどうなるのかお聞かせください。

町長 当町では、超高齢社会の進展、社会保障費の増大、一人暮らし・認知症高齢者の増加、の3点を町が将来直面する課題としてとらえ、重点的に取り組む4項目を第8期高齢者福祉計画に定めました。

私は、第8期計画に掲げた様々な施策を着実に実施していくことにより、地域包括ケアシステムをさらに充実させ、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、いきいきと安



住みたい・住み続けたいまち

横山 要介護者が在宅生活を続けるには、医療と介護の連携が重要です。連携強化に向けた具体的取り組みと、要介護者を一番身近で支える家族の負担軽減につながる取り組みについてお聞かせください。

町長 在宅医療・介護の連携推進を第8期計画の重点項目の一つに定め、町民の理解と意識啓発を進めるとともに、在宅医療と介護サービスを一

体的に提供するための関係機関の連携を推進してまいります。在宅で介護にあたる家族の負担を軽減するためには、訪問診療や訪問看護などの提供体制を充実させていくとともに、在宅介護サービスを効

果的に利用していただき、医療・介護の両面からの支援が必要と考えています。今後、家族が負担を抱え込まないように、支援をしてまいります。(その他の質問)
*子育て支援について

広渡

元気で活力あるまちづくりへ向けて

町長 定住人口の増加を目指す



広渡 輝男 議員

広渡 まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されてから3年を経過し、折り返し点を迎えているので中間評価と課題についてお尋ねします。

町長 まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況は75事業のうち61事業が実施中であり、実施率82.7%ですが、定住人口の増加が課題であり、引き続き取り組みます。

の進捗状況をお尋ねします。

町長 区画整理事業は多額の公費を要することから公益性を考慮しても町民の理解が得られにくいと判断し、事業実施は困難と考えます。そのため新たな手法による活性化策を検討します。また、海老津駅南側地区は民間開発や企業誘致を進めます。

広渡 厳しい財政の中、まち・ひと・しごと創生総合戦略を推進する財政基盤の強化策をお尋ねします。

町長 健全な財政運営へ向けて行政改革推進計画や公共施設等総合管理計画を推進するとともに、さらに一歩踏み込んだ行政改革に取り組みます。



海岸保全対策も待ったなし！

平山

国保税率は上がるのか

町長 負担増加の緩和に努めたい



平山 正法 議員

平山 国民健康保険制度が4月から都道府県単位に変わります。これに伴い、町の国民健康保険業務と町民への影響はどうなりますか。

町長 事業運営面においては、資格管理や保険給付、保険税率の決定、賦課徴収、保健事業など、市町村は住民に身近な業務を今後も引き続き行います。このため、住民・被保険者の諸手続き等については従来と変わりありません。

平山 保険税率が上がり、生活がさらに苦しくなる世帯が増えるのではないですか。

町長 一般会計からの法定外繰入金や累積赤字を計画的に解消することや、国保税の賦



課方式を4方式から3方式に変更するとともに、国保会計の収支の均衡が保てる適正な税率に改正したいと考えており、現状を踏まえると国保税率を上げざるを得ない状況です。

なお、今回の改正においては、国保制度の改革に伴って大幅な負担増加とならないように国や県の緩和措置が行われ、町においても一般会計からの繰り入れを引き続き行い、被保険者の皆さんへの負担増加の緩和に努めたいと考えています。

平山 滞納者への差し押さえはどう変わりますか。

町長 滞納者に対する対応については、今後もこれまでどおり納税相談を通して個々の事情に応じたきめ細かな対応

を行いながら税を納付していただくとともに、状況に応じて適正に滞納処分を行い、税収の確保に努めていきたいと考えています。

西

心豊かに学び育つために

教育長

さまざまな支援に努める



西 美千代 議員

西 不登校について、原因はさまざま考えられますが、岡垣町教育委員会として、現状をどのように認識されていますか。

教育長 いじめや非行など学校における諸問題の実態を把握するために、毎月小中学校に対し調査をしています。年間の欠席日数が30日を超えた児童生徒のうち病気と判断さ

れたケースを除いたものを不登校と定義し集計しています。様々な理由で登校できず、支援を要する児童生徒は岡垣町でも少しずつ増えていくと認識しています。

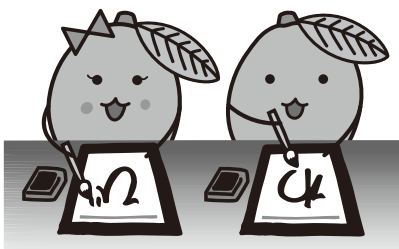
西 スクールカウンセラーの業務は、児童生徒に対する相談のほか、保護者や教職員に対する相談など、学校の教育相談体制に大きな役割を果たしています。岡垣町におけるスクールカウンセラーの配置状況と今後の方針についてお尋ねします。また、小学校への配置についても検討してほしいと思います。

教育長

町内の両中学校に福岡県教育委員会から各1名が派遣されており、週1日4時間業務に当たっています。近年では学校教員だけで解決することが難しい事案も増え、現状の配置時間数では十分といえない状況です。この実状を踏まえ、配当時間の拡充や、小学校への新規配置についても、県での予算化と提言事項の早期の実現を求めています。

西 教育相談電話や様々な相談先について、支援が必要な人に届くよう、十分な周知に努めてほしいと思います。

教育長 教育委員会と学校で連携し周知に努めます。



小野

中心市街地活性化の動向は

町長

新たな手法による駅前活性化策を検討



小野 元次 議員

小野 平成12年より取り組まれた中心市街地活性化の進行状況と今後の動向についてお聞きします。

町長 中心市街地活性化委員会の意見を踏まえ、区画整理事業の柱である建物共同化の主要な権利者として想定される日本郵便及び商工会の意向を確認し、最終的な整備計画をまとめ、事業費の算出を行いました。検討してきた区域で区画整理事業を行う場合、土地価格が上昇しない減価補償地域となり、公益性を考慮すると限られた区域に多額の公費を投入する事になりますので町民の皆さんの理解が得られにくく、事業の実施は難

しいと判断しています。

小野 海老津周辺地域では約1、800世帯、約4、300人が居住し、中央台・高陽地域を含めると約7、000人になります。JR海老津駅の一日乗降客は、7、500人が利用しています。買い物を行う商業地域は無く、また普段の生活での買い物者を救済する支援策はありませんか。

町長 周辺地域には、マンションの建設や住宅団地が整備されています。この状況の



海老津駅周辺

変化に対応しながら、今後は、民間活力を主体とした取り組みやソフト事業の推進といった新たな手法による駅前地域の活性化策を探る事とし、平成30年度当初予算において調査検討費を計上しています。

神崎

高齢者に優しいバス停整備を

町長

主要なバス停はすでに整備されている



神崎 宣昭 議員

神崎 バスは高齢者の外出支援として、高齢者が安心して利用できる公共交通です。バス停の掲示類や時刻表の文字などを大きくし、また、雨風や夏の暑い日差し除けの屋根やベンチなどを設置して、高齢者に優しい環境整備をしていただきたい。また、各自治区の住民が必要に駆られ、苦勞し知恵を絞っ

(その他の質問)

「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち 岡垣」について

- *5次総合計画の進捗状況
- *町の行政改革推進計画
- *ふるさと納税の推進

て、県や広域事務組合、町の助成金などを利用してバス停に小屋や屋根、ベンチを設置しています。このような取り組みを奨励する気はありませんか。財政が厳しいのであれば、高齢者福祉、協働のまちづくりの一環として、高齢者がよく利用する医療機関、福祉施設、ドラッグストア、スーパー、コンビニなどから支援金を募ってはどうか。

町長 コミュニティバスの利用者数は減少傾向にあり、運行には多大な経費を負担しています。西鉄バスについても、利用者は年々減少し、平

成27年の減便後も厳しい経営環境にあり、将来にわたって赤字路線からの脱却が望めない、運転手が不足しているなどで、本年9月末で、波津線の一部区間廃止の申し入れがありました。こうした状況の中、バス停のベンチや屋根など、利用しやすい環境整備も大切ですが、現状、主要なバス停は、既に整備されているため、波津線の維持・存続、コミュニティバス路線の再編や利用促進など、持続可能な公共交通機関の再構築を重点課題として取り組みたいと考えています。

(その他の質問)

- *自治区への加入促進
- *中学校の制服



整備されたバス停

委員会視察研修・活動レポート

総務産業常任委員会

本委員会は地方創生の視点から前回の漁業振興に引き続き農業振興や商業振興へ向けた調査を行いました。

平成30年産米から実質的な米の生産調整が終わり、農業政策が大きく変わるため、岡垣町の農業の現状と課題やまた目指すべき対策等について2月8日に認定・志向農業者連絡会との意見交換を行いました。

商業振興では商工会と海老津駅前への賑わい創出へ向けた都市基盤整備や土地区画整理事業の取り組み状況について2月13日に意見交換を行いました。

意見交換の中では、農業振興では水田の基盤整備等の促進や、商業振興では権利問題や事業費等の課題があることから、委員会の今後の取り組みに生かしていきます。



商工会との意見交換会



認定・志向農業者との意見交換会

中西部地域活性化調査特別委員会

日時

平成30年1月25日～26日

視察先

- ・三重県伊賀市（モクモク手づくりファーム）
- ・滋賀県近江八幡市（ラコリーナ近江八幡）

視察の目的

- ・民間企業・第三セクターの6次産業化への取り組み

伊賀の里モクモク手づくりファームは30年の歴史があり、活力をもって生産から加工・販売と、6次産業化に取り組み始めてきました。体験型観光施設として親子で楽しめる施設で、近隣からの来場者も増えています。現在、更なる経営拡大へ向けて運営されており、参考としたい組織でした。



モクモク手づくりファーム

日時

平成30年1月29日

視察先

- ・熊本県南阿蘇村（あそ望の郷くぎの・南阿蘇オーガニック）
- ・熊本県玉名市（たまな五葉倶楽部）

あそ望の郷は第三セクターとして運営されており、道の駅として2年前に登録され、客数は伸びているとのことでした。

南阿蘇オーガニック、たまな五葉倶楽部は野菜、果物を乾燥加工し、6次化商品の原料として提供されています。岡垣町のスイーツなどの原料として活用できる可能性を感じました。



南阿蘇オーガニック

議会の動き

12月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
1月 5日	議会広報	議会だより編集
1月11日	議会広報	議会だより編集
1月11日	文教厚生(協)	行政改革推進計画(案)
1月12日	総務産業(協)	行政改革推進計画(案)
1月12日	総務産業	地方創生について ほか
1月15日	研 修 会	町村議会議員研修会
1月18日	その 他	学校空調設備補助陳情
1月18 ~ 19日	総務産業	国道3号岡垣バイパス4車線化・野間ランプ設置工事陳情活動
1月25日	中西部地域	視察研修(三重県伊賀市モクモク手づくりファーム)
1月26日	中西部地域	視察研修(滋賀県近江八幡市ラコリーナ近江八幡)
1月29日	中西部地域	視察研修(熊本県南阿蘇村、玉名市)
1月31日	中西部地域(協)	JA女性部との意見交換会
2月 5日	総務産業	地方創生について ほか
2月 6日	議会広報	住民懇談会
2月 8日	総務産業(協)	認定農業者との意見交換会
2月 9日	全員協議会	国民健康保険の広域化
2月13日	総務産業(協)	商工会との意見交換会
2月15日	議会運営	平成30年第1回定例会
3月 1日	本 会 議	平成30年第1回定例会
3月 1日	議会広報	議会だより編集
3月 2日	総務産業	付託案件の審査
3月 5日	連合審査会	付託案件の審査(補正予算)
3月 5日	本 会 議	補正予算 議決
3月 6日	本 会 議	一般質問 4人
3月 6日	議会運営	追加議案
3月 7日	本 会 議	一般質問 4人 追加議案上程
3月 8日	総務産業	付託案件の審査
3月 9日	中西部地域	観光協会との意見交換
3月12日	文教厚生	付託案件の審査
3月13日	全員協議会	岡垣町地域福祉計画の策定について ほか
3月14日	連合審査会	付託案件の審査
3月15日	連合審査会	付託案件の審査
3月19日	連合審査会	付託案件の審査
3月22日	本 会 議	議決(最終日)
3月22日	議会広報	議会だより編集
3月27日	議会広報	議会だより編集

議会広報常任委員会

7月3日(火)午後7時から東部公民館において平成30年度岡垣町議会「議員と語ろう」を開催します。

昨年度までは、議員と住民のみなさんが向き合っていました。今年度はテーブルを囲んで行います。

住民のみなさんが思っていること、考えていることを語り合いたいと思います。

テーマはまだ決まっていますが、決まり次第ポスターや回覧板などでお知らせします。このご期待!!



場 所
東部公民館

日 時
7月3日(火)
午後7時～9時

議員と語ろう



岡垣町のここはどこ？

この施設は、岡垣町の生活を支える水道水の源となっています。
 コンコンと湧き続ける大自然の恵み、地下水の恵みのおかげで水とともに生きる岡垣町の重要拠点となっています。
 当施設では、おいしい水を安定して供給できるように、水源の確保から供給体制を維持しています。
 また、天然地下水は自動給水器から「大地の水」として提供しています。
びわりん・びわすけからの一言
 今年は6月2日(土)に、水道まつりを開催する予定だよ。みなさん来てね。



No.115の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、議場(岡垣町役場内)でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

**どうぞ
傍聴席へ**
 次の定例会は
6月6日(水)
開会の予定

1・2・3月の主な出来事



遠賀郡消防総合訓練



どんど焼き(山田小学校)



鮭の稚魚放流(矢矧川)



卒業式(海老津小学校)

編集後記

木原 大輔

「万緑の中や吾子の歯生え初むる」中村草田男の俳句です。あたり一面が緑におおわれた中、我が子に小さな歯が生えた。緑と白のコントラストがきれいな、親が我が子の成長を喜び愛しく思う俳句です。
 今、編集後記を我が子の笑顔に囲まれた中書いている。長男が4月から中学生になった。「おめでとう」そして「ありがとう」子どもの成長で自分は今までがんばってこれたと身に染みでの思いだ。子どもたちの笑顔が今までもこれからも生きていく活力になっている。本当にありがとう。
 もう少しで「こどもの日」だ。子どもたちの笑顔がふれるまちづくり、笑顔が続くまちづくりをしていきたいものだ。

発行責任者	議長	副議長	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	議長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
太田 強	太田 強	森山 浩二	平山 正法	平山 正法	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二	森山 浩二